

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第21回史跡高松城跡整備会議建造物整備部会
開 催 日 時	平成31年1月29日(火) 13時00分～16時30分
開 催 場 所	玉藻公園 披雲閣 桐の間
議 題	(1) 披雲閣(蘇鉄の間)耐震補強案 (2) 披雲閣大書院等耐震診断
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	谷部会長・増井副会長・三浦委員・山田委員・宮本委員
傍 聴 者	2人
担当課及び連絡先	文化財課(埋蔵文化財センター) 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題(1) 披雲閣(蘇鉄の間)耐震補強案

(事務局) 披雲閣耐震補強に当たり、発掘調査成果をふまえ、前回の補強案を修正し、鉄骨フレームのA案と木製添え柱のB案の2案検討した。地下遺構への配慮が必要なことから、A案についてはコンクリート基礎を地下へは設置せず、地上に設置する方法に変更した。コンクリート基礎の位置については縁の下と床下の2案提示した。また外部に見える鉄骨フレームの量を減少させるとともに、柱材への負担を軽減している。耐震性能については、A案では極稀地震の際の耐震性能は安全確保水準を満たしているが、B案では極稀地震の際の耐震性能は安全確保水準を下回る事となった。今回の各補強案について御意見をいただきたい。

(委員) こうした耐震補強案の施工事例はあるのか。他の先駆的な事例をもとにして検討する必要がある。

(委員) 鉄骨の量が非常に多いと感じ、外から見たときの軽やかさがなくなる。

(委員) 名勝に対してどれだけ影響を軽減できるかも重要。名勝としての価値への影響を軽減したという論理的な理由を考える必要がある。庭園の委員の意見も聴いて検討してください。

(委員) 重要文化財(建造物)と名勝(庭園)としての価値のバランスが大切。現在の活用方法とともに、建造物の本質的価値を総合して計画立案する必要がある。

(委員) 蘇鉄の間だけでなく、大書院の補強案も検討してから、蘇鉄の間について再度検討する必要がある。

(事務局) 次回の委員会で大書院・松の間・桐の間の耐震補強案を提示する予定である。

議題(2) 披雲閣大書院等耐震診断

(事務局) 大書院と杉の間、桐の間、管理事務所棟の耐震補強案の作成に向けて、耐震診断の見直しを実施するとともに、勝手棟と便所棟の耐震診断を実施した。

(委員) 便所棟については耐震補強に合わせて、バリアフリー化について検討してもいいのではないかと。